

## イベント・体験情報 ※詳細は、ホームページをチェックしてください。

### 山梨県水晶美術彫刻協同組合による無料体験（8月22日、23日）

山梨ジュエリーミュージアムの協力団体である山梨県水晶美術彫刻協同組合の青年部による無料体験が実施されます。国指定の伝統的工芸品である「甲州水晶貴石細工」を担う若手職人たちが、独特な機械を使って、みなさまに山梨が誇る伝統的技術をご紹介します。

また、小さなお子様でも楽しめるよう、プレスレットづくりや宝石すくいなどの体験も実施します。

日時：平成27年8月22日（土）10:00～17:00

平成27年8月23日（日）10:00～17:00

場所：山梨県防災新館1階オープンスクエア  
（山梨ジュエリーミュージアムの隣）



### ワンランク上の体験「Designer-Craftsman Jewelry」はじまる

山梨ジュエリーミュージアムでは、山梨ジュエリーの産地ブランド“Koo-fu”のデザイナーがデザインし、職人が形にする新しい制作体験「Designer - Craftsman Jewelry」を始めます。第一弾として、Koo-fu デザイナー関戸和代氏がデザインし、鋳職人深澤利彦氏が形にしたオリジナルジュエリー2点の制作体験を7月19日（日）から開始します。



リング 6,300円



ペンダント 7,500円



左：関戸和代氏 右：深澤利彦氏

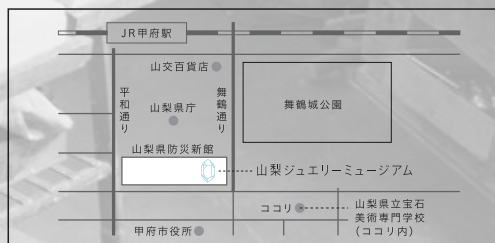
### 山梨ジュエリーミュージアム

開館時間：午前10時～午後6時（最終入館は、午後5時30分まで）  
休館日：火曜日（祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/26～1/1）  
：その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料 無料

駐車場：92台（山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料）

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁内）  
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



Yamanashi  
Jewelry  
Museum

創刊号

「鋳職人

小池 幸夫」

Vol.1

CJ

craftsman jewelry

# 魅せる！職人技



ジュエリーミュージアムの実演工房は、ジュエリーにかかわる仕事をしている職人たちが、自らの日常の仕事を来館者の目の前でやって見せてくれる新しいタイプの展示施設だ。

職人にもいろいろなタイプの人がいる。この人が工房に詰める担当のときは、工房の空気そのものが明るく楽しいになる、そんな人だ。

ジュエリーの製作には、石の彫刻、研磨、貴金属加工などいろいろな職人が関わっているが、小池幸夫は貴金属加工の職人だ。一枚の地金から、形を作り上げるその技術はまるで魔法のよう。それ以外にもキャスト（鋳造）、彫金、ロウ付け、研磨など多様な加工技術があるが、その全てに習熟し、自在に注文主の要望に応えることができる、この業界で1、2を争う腕の確かさを持っている。現在では、仕事の分業化が進み、金属加工の全てを一人でこなす職人は減っていると言われる。

## @技術の裏にある人間的な温かみ、面白さ

昭和18年生まれ。山梨の宝飾産業の発展とともに腕を磨いてきた。戦後間もない日本は貧しく、多くの子どもたちが中学を出るとすぐに職に就き、家族に仕送りをするのが当たり前の時代。小池は中学卒業後、金属加工の親方のもとに弟子入りすることになったという。当時は、地元の甲府で就ける仕事の選択肢は限られていたが、もともと手先が器用で、物を作ることが好きだった小池がこの世界に入ったのは自然の流れだったようだ。

小池の師は、その業界でも特に厳しい人物として知られていた。「よくあそこで勤まったなあ。」と後に周りの人たちから言われたそう。ただ小池にとっては、師匠の人間的な温かさや人としての面白味が、その厳しさを乗り越えることのできた理由の一つだったという。技術だけでなく、その

人柄も師から継承しているのかもしれない。技術や職人としての姿勢を徹底的に叩き込まれ、20代で独立する。同世代の仲間の中には、途中で挫折したり、商売として失敗をしたりして辞めていく者も多かったが、周りからの信頼を集め、第一人者として今も仕事を続けている。

## @難しい仕事が自分を成長させる

金属加工を知り尽くしていると評価されている今でも、「まだまだ分からないことがあるよ。探求心が大事。」と言う。同じ世代の確かな腕を持つ職人仲間と切磋琢磨している。

「最近の若い人たちは、あきらめるのが早い。それがもったいない。」と感じている。難しい仕事こそが、自分の成長を可能にしてくれたという強い思いがあるからだ。だからこそ教育にも情熱を注ぎ、県立宝石美術専門学校の講師として後進の育成にも携わっている。

お客様の目の前で、プラチナ・リングのサイズ直しに、慣れた手つきで取りかかる。「横向いて、くしゃみしている間に、終わっちゃうさ。」明るい調子で冗談を言いながら、確実に仕事を仕上げている。



## 銚職人 小池幸夫 (貴金属加工)

昭和18年生まれ。中学校卒業後、銚職人萩原進氏に師事。平成24年に「やまなしの名工」に選ばれる。山梨県立宝石美術専門学校非常勤講師。

## 小池幸夫氏による実演及び体験指導

8月16日（日）及び9月19日（土）に同氏による実演及び体験指導が実施されます。また、空き時間には、ジュエリーの無料クリーニングを実施します。お気軽にお立ち寄りください。

次回「伝統工芸士 長岡良雄」2015年8月発行予定